

第12回東京都北区新庁舎建設基本計画専門家会議 概要

- 日時 令和4年5月17日(火) 10:00~11:30
- 場所 テレビ会議
- 次第
 - 1 開会
 - 2 議事(1)今年度のスケジュール
(2)中間のまとめ説明会について
(3)事業計画について
 - 3 その他
 - 4 閉会

●会議概要

1 開会

2 議事

(1)今年度のスケジュール

- 事務局から、今年度のスケジュールについて説明があった。

(2)中間のまとめ説明会について

- 事務局から、中間のまとめ説明会、Webアンケート等の実施結果について説明があった。
- 委員意見等

- ・ あそこに新庁舎を建てることで、低地の防災性、例えば災害にあったときの避難時の休憩や避難経路等として役に立たせることができる。だから低地に移転することにはメリットもある、その可能性が追加できる、と言う必要があるのではないかと思う。
- ・ 大規模気象災害であれば5日前から進路予報が出る。大雨がピークになる前の段階、直後期の浸水が来ている段階、水が引いた段階と、大まかなフェーズに分けて、区民の安心安全にどう貢献するかということ、王子駅周辺のまちづくりとも連携して、上手く伝わる表現をしていく必要があるのかなという気はした。
- ・ 災害の問題は、人命に関わる非常に重要なこと。やはり詳しく書かないといけないのだろう。誤解を受けない様に、きちんと、詳細に書く必要があるのだろう。
- ・ 住民が要求する安全と、本当の意味での防災力、レジリエンスに関わるものは、少し違う。やはり、きちんと説明しておいた方が良さそう。建物の耐震性や、電気の供給や、孤立しない様な輸送との接続等、災害対策本部のある庁舎として、BCPがきちんと確保できているかという建物の性能の問題。たとえ庁舎が安全であっても、周りが水に浸かってしまうと身動きが取れなくなるというのは、色々な所で実証されている。どうすればBCPが担保できるのか。精緻に設定しなければならない。

(3) 事業計画について

- 事務局から、事業計画の検討の必要について説明があった。
- 委員意見等
 - ・ 今の段階で、工事費を公表することになるのか。そうすると工事費が高止まりしてしまうなどの懸念はないか。その辺りはきちんとした方がよろしいのかなという気がする。
 - ・ 建物に必要な性能には、ZEBや免震等やった方が良く、やるべきことがある。だが、そうすると工事費が高くなる。やったときにどうなるかということも考えておいた方が良くのだろう。
 - ・ 工事費を抑えるために、免震をやるときに建築面積を減らした方が有利に働くが、そうすると階数が高くなって働く人達のエレベーター待ちの時間が増える恐れもある。働く人の生産性が、工事費を抑えるために犠牲にならないように注意が必要ではないか。
 - ・ 階高等をどれ位にしておくか。日本でよくあるのは、ぎりぎりまで抑え込んで建築費を抑えるが、そうすると設備更新等で、全然対応できなくて、建て直すしかないという話がある。階高に少しだけ余裕を持たせておくと、将来的に更新が必要なときにも対応できる。改修を含めたライフサイクルコストをある程度考慮して考えるべきでは。
 - ・ 発注方式によって、様々なものが決定してしまう感じもあるので、ここは短期間に決めるのではなくて、良い点、悪い点、きちんと議論して、サウンディング等をやりながら、最終的に決めるやり方もあるのではないか。行政的には早く整理をしたいのかもしれないが、非常にクリティカルなので、よくお考え頂ければと思う。

3 その他

(1) 次回会議日程について

- 次回会議日程 令和4年8月31日(水)

4 閉会